

第【 1 】学年 教科【 社会 】

1 学習目標

- (1) 日本を中心に、近世（16 世紀）までの各時代について、その時代の特徴と、歴史的展開を、基本的歴史用語と史料の活用を踏まえ、批判的に考察・理解し、説明することができる。
- (2) 世界の国々について、自然条件のみならず歴史的背景や社会制度の違いにより多様なくらしが営まれていることを理解することができる。
- (3) 私たちが暮らしている地球がかけがえのないものであるということを理解し、持続可能な社会を築くために必要な知識や技能、姿勢や考え方を身に付けることができる。

2 使用教科書・教材

- (1)教科書「中学社会 歴史 未来をひらく」(教育出版)
- (2)教科書「中学生の地理 世界の姿と日本の国土」(帝国書院)
- (3)副教材「中学校社会科地図」(帝国書院)
- (4)副教材「よくわかる社会の学習歴史1」(明治図書)
- (5)副教材「よくわかる社会の学習地理1」(明治図書)

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
1 学期（4～7月）	<ul style="list-style-type: none">・世界のさまざまな地域・人々の生活と環境・原始・古代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none">・世界のさまざまな生活と環境・暑い、乾燥した、温暖な、寒い、高地の暮らし・世界各地の衣食住とその変化・人々の生活と宗教の関り・人類の出現と文明のおこり・日本の成り立ちと倭の王権・大帝国の出現と律令国家の形成
2 学期（8～12月）	<ul style="list-style-type: none">・人々の生活と環境・世界の諸地域・中世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none">・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・貴族社会の発展・武家政治の始まり・ユーラシアの動きと武家政治の変化
3 学期（1～3月）	<ul style="list-style-type: none">・世界の諸地域・中世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none">・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州・結びつく民衆と下剋上の社会

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の地域構成を大観するために必要な概念を理解し、身に付けている。 様々な資料から、世界と日本の地域構成についての情報を適切に読み取っている。 世界各地の人々の生活の様子とその変容や環境の多様性を、自然的条件や社会的条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 世界各地で顕在化している地球的課題は、それがみられる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 古代までの日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 中世の日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色をふまえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト ワークシート 話し合い活動
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の地域構成の特色を、文章や略地図などで適切に表現している。 世界各地の人々の生活の様子とその変容や環境の多様性を、自然的条件や社会的条件と関連付けて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 世界の各州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや他地域との結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや東アジアとの交流と天皇や貴族の政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、古代までの社会の変化のようすを多面的・多角的に考察し、表現している。 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、中世の社会の変化のようすを多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト ワークシート

	<ul style="list-style-type: none"> • 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> • 世界と日本の地域構成に対する関心を高め、身に付けた概念を今後の学習に生かそうとしている。 • 世界各地の人々の生活の様子とその変容や環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究している。 • 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 • 資料から人類が誕生した時代の前後を比較することを通して、古代までの日本について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 • 古代までの日本の学習をふり返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、古代までの時代の特色は何かを主体的に追究しようとしている。 • 資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して、中世の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 • 中世の日本の学習をふり返りながら自身の学びを確認、調整しようとするとともに、中世の時代の特色は何かを主体的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシートの記述内容 • 授業中のようす • 問題集の取り組み内容 • 話し合い活動